



考えて

やってみて

次の意欲へ

創造・挑戦・感動

篠山東中
学校だより
7月号 No.6

知的好奇心は学びの原動力！ ～やりたいことをやり遂げる夏休みに！～

AI（人工知能）がいくら進歩しても、世の中には未だ知られざる「未知」の世界が存在します。

「宇宙の世界」しかり、「深海の世界」しかり、「脳のつくり」もまた人体の一部でありながら、全ての構造が解明されているわけではありません。

不思議なもので、私たちは知らないことを目の前にすると知りたいという欲求にかられ、その知的好奇心が原動力となってそこに学びが生じます。結果、「未知」を「知」に変えることで、世の中は進歩してきました。

子どもの学びに向かう力も、知的好奇心が大きな原動力になります。「なぜ?」「どうして?」「不思議!」「もっと知りたい!」という好奇心が学ぶ意欲を駆り立てます。しかしながら、大人になってもなお、その好奇心を持ち続けることは、そう容易なことではありません。正解主義、失敗が許されないいまの世の中が、知らず知らずのうちに、好奇心の芽を摘み取っているのかもしれない。

いよいよ今週末から夏休みを迎えます。今年の夏休みは40日間（実質7/20～8/28）です。中学生になると、部活動、宿題、習い事と、夏休みといっても、そのんびりは過ごしていただけません。また、3年生にとっては、進路選択・進路決定という大きな課題も迫っています。

当然、与えられた課題はやり遂げなければなりません。でも、与えられた課題だけやっていけばそれでいい、という夏休みにはしてほしくありません。何か1つでも、「自分がやりたいと思うこと」をやり遂げる。ぜひ、そんな夏休みにしてください。

40日間のうち、せめて1日くらいは、「自分の興味関心のあること」「自分がやりたいと思うこと」に全力を注いでみましょう。8月29日（木）の始業式に、皆さんの元気な姿に出会えることを楽しみにしています。

「宇宙の秘密が知りたくなった、と思うと、いつのまにか自分の手は一塊の土くれをつかんでいた。そうして、ふたつの眼がじいっとそれを見つめていた。

すると、土くれの分子の中から星雲が生まれ、その中から星と太陽とが生まれ、アミーバ（アメーバのこと）と三葉虫とアダムとイヴとが生まれ、それからこの自分が生まれて来るのをまざまざと見た。

……そうして自分は科学者になった。

しばらくすると、今度は、なんだか急に唄いたくなって来た。と思うと、知らぬ間に自分の咽喉から、ひとりでに大きな声が出て来た。その声が自分の耳にはいったと思うと、すぐに、自然に次の声が出て来た。

声が声を呼び、句が句を誘うた。そうして、行く雲は軒ばに止まり、山と水とは音をひそめた。

……そうして自分は詩人になった。」（大正九年八月「渋柿」）



一塊の土くれの中に広大な宇宙を見出し、太古の生命の誕生から自分の誕生を想像する。科学者になり、また詩人にもなり…、何と想像力に満ち、好奇心旺盛なことか。

いろんなことに興味関心を持ち、すぐに飽きてしまっては長続きしない。つい大人が口を出したくなる。でも、その好奇心は尽きることなく終わりを知らない。……この姿こそが、本来、子どものあるべき姿ではないでしょうか。学校において、子どもの抱く好奇心の芽を摘み取ることのないよう、努めていきたいと思っています。

※保護者・地域の皆様には、この1学期間、本校の教育活動にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で、大きな事故や怪我なく、無事に1学期を終えることができました。間もなく夏休みに入りますが、引き続き本校の生徒に対しまして、ご支援を賜りますようお願いいたします。

いじめ「なくす」より「させない」!

～ 令和6年度 篠山東中学校 いじめアンケート調査結果から ～

近年の国（文部科学省）の調査では、9割近くの子どもが『いじめをした経験がある』と答える一方で、それと同等の割合の子どもが『いじめや仲間外しをされた経験がある』と答えています。

この調査結果からも、いま社会問題となっているいじめは、ターゲットが次々と入れ代わりながら、実は多くの子どもがその両方（いじめる側といじめられる側）を経験していると言われています。

本校では、この調査結果を踏まえ「**いじめは、どの学校、どの学級、どの生徒にも起こり得るもの**」という認識のもと、**校内の生徒指導委員会を“いじめ対応チーム”**（構成メンバー：校長・教頭・全体の生徒指導担当・各学年の生徒指導担当・養護教諭・SC〔スクールカウンセラー〕等）に**位置づけ**、日頃から未然防止及び早期発見に向けた取組を行っています。

毎年6月に実施するいじめアンケート調査（以下、「アンケート調査」という。）も、早期発見に向けた取組の一つです。

本校の生徒は明るく素直で、皆落ち着いて学習に取り組んでいます。保護者や地域の皆様の中には、もしかすると、本校のような落ち着いた学校ではいじめなど起こらない、と思われている方がおられるかもしれません。でも、落ち着いているからといって、いじめやトラブルが起きないとは限りません。

先月6月17日（月）に実施した令和6年度のアンケート調査（調査対象期間は、令和6年4月からアンケート調査実施日まで）では、「今もいじめられている」と回答した生徒はいなかったものの、「いじめられたことがある」と回答した生徒が全校生徒の0.9%いました。

すぐに“いじめ対応チーム”で対応方針を定め、関係する生徒との面談を通して、アンケート調査だけでは見えない部分について聴き取りを行いました。そこでわかったことは、“**無自覚な言動**”が生徒を傷つけてしまっていたという事実でした。では、そんな原因を抑えるために、一体どんなことが必要なのでしょう。それは「**自分の大切さとともに他人の大切さを認めること**」ができる『**人権感覚**』を身につけることです。

しかしながら、このような『人権感覚』を身につけることは一朝一夕にできることではなく、また、学校だけでできることではありません。つまり、**いじめを生まない土壌をつくるには、家庭・学校・地域（＝三者）の協力・協働が必要不可欠**なのです。

本校では、**いじめを「なくす」というよりは、いじめを「させない」**ために、いま生徒会を中心に、「いじめゼロ宣言」、「情報機器取り扱い宣言」、「人権教室」など、**生徒の主体的な活動を推奨**しています。そして、生徒自身が心を耕すことで、人権意識の醸成を図っています。

アンケート調査は、あくまで早期発見の手段にすぎず、アンケート調査を実施する段階では、すでにいじめやトラブルが進行しているケースも少なくありません。また、相談体制の構築についても体制を整えることは大切ですが、何かトラブルが生じてからの相談では、事後の対応になってしまいます。大きないじめやトラブルに発展する前に、些細なことでもすぐに相談できる体制を築いておくためにも、日頃の声かけや教育相談、生活ノート等のやりとりを通して、生徒や保護者、地域の皆様と良好な関係を築いておくことが大切だと思っています。本校では、これからも「**未然防止**」に**主眼を置き、いじめを生まない土壌づくりに取り組んで参ります**。引き続き、ご支援とご協力をお願いします。

8～9月行事予定

*予定ですので変更になる場合があります。ご了承ください。

8 月	
1 日 (木)	ドリーム学級研修旅行 学校発 8:30 場所：ウトロ平和記念館他（京都府宇治市）
10 日 (土)	学校閉庁日〔～8/15（木）〕
15 日 (木)	学校閉庁日 デカンショ祭礼補導（PTA役員）
16 日 (金)	デカンショ祭礼補導
24 日 (土)	PTA美化活動 ※小雨決行 8:15～
28 日 (水)	夏季休業最終日
29 日 (木)	2学期始業式 12:00 下校
30 日 (金)	給食開始、体育祭練習開始
31 日 (土)	丹有陸上新人（三木防災）
9 月	
1 日 (日)	丹有陸上新人（三木防災）
2 日 (月)	全校朝会
4 日 (水)	SC来校
5 日 (木)	予行演習（予定） 15:30 下校
7 日 (土)	第27回体育祭 8:45～ 15:30 下校
9 日 (月)	体育祭「振替休業日」
10 日 (火)	課題・実力テスト、給食あり
11 日 (水)	SC来校
18 日 (水)	SC来校 PTA教養文化部会 19:00～
19 日 (木)	ドリーム学級（DVD視聴）
25 日 (水)	生徒会専門委員会、SC来校 PTA三役会 18:30～ PTA第4回役員会 19:00～
26 日 (木)	部活動 可
27 日 (金)	中間テスト 5日前
28 日 (土)	丹波篠山市新人大会
29 日 (日)	丹波篠山市新人大会
※新人大会会場 野球（城東G）卓球（スポーツC） バレー（東中）テニス（スポーツC）	